

#### #4 力づける方としてのキリストの中に住むーキリストを

経験する秘訣 (メモリアル・デー特別集会)2019/7/22-28

#### I. 私たちは、力づける方としてのキリストの中にある秘訣を学ぶ必要があります:

A. **ピロ4:12~13**で、パウロは言います、「私は卑しくなる道を知り、また豊かになる道も知っています。あらゆる事において、またいっさいの事柄において、私は飽くことにも飢えることにも、豊かであることにも乏しくあることにも、秘訣を学びました。私は、私を力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」:

1. 「秘訣を学びました」という語句は、パウロが新しい状況、新しい環境に入ったことを示しています。私たちは新しい環境に置かれるときはいつでも、その環境の中で生きる秘訣を学ぶ必要があります:**a.** 「私は…秘訣を学びました」は、文字どおりに、「私は入門しました」を意味します。この比喻は、人が秘密結社に入門して、その基本原則を教えられることを言います。**b.** パウロはキリストに回心した後、キリストとキリストのからだの中に入りました。**c.** そして、彼はどのようにキリストを命とし、キリストを生き、キリストを大きく表現し、キリストを獲得し、召会生活を持つかの秘訣を学びました。これらすべては基本原則です。

2. 「あらゆる事において」は、それぞれの事柄においてを意味します。「いっさいの事柄において」は、すべての事柄においてを意味します。これら二つの語句を加えると、人生の行程におけるすべての事柄を含みます。

3. パウロはどんな事でも、どんな場所でも、キリストを経験する秘訣を学びました。これは、さらに多くのキリストを私たちの内側に蓄積させる秘訣でもあります。**月**

4. その秘訣は**ピロ4:13**にあります、「私は、私を力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができます」:**a.** パウロはキリストにある人でした。そして、彼は他の人によってキリストの中に見いだされることを願いました。今、パウロは彼の中で、すなわち、パウロを力づけてくださるキリストの中で、いっさいの事柄を行なうことができると宣言しました:**1**これは、キリストに対する彼の経験についての、すべてを含む、結論の言葉です。それは、私たちと主との有機的な関係についての主の言葉、「私を離れては、あなたがたは何もすることができない」(ヨハネ15:5)の裏返しです。

**2**「力づける」のギリシャ語は、「内側で活動的にさせる」を意味します。

**3**キリストは、私たちの内に住まわれます。彼は外側からではなく、内側から私たちを力づけ、活動的にさせます。そのように、内側で力づけられることによって、パウロはキリストの中で、いっさいの事柄を行なうことができました。**コロサイ1:27** 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にいますキリストであり、栄光の望みです。

**b.** パウロは完全にユダヤ教の中で、律法の下におり、常に他の人によって、律法の中に見いだされてきました。しかし彼は回心の時、律法と以前の宗教から、キリストの中に移され、「キリストの中にある人」となりました(**II コリント12:2**)。

**c.** 今やパウロは、彼を観察するすべての者、すなわちユダヤ人、天使たち、悪鬼どもによって、キリストの中に見いだされることを期待しました。これは、彼の全存在がキリストに浸し込まれ、キリストで浸透されて、パウロを観察するすべての者が、彼を完全にキリストの中に見いだすことを、彼が切望していたことを示します。私たちがキリストの中に見いだされてはじめて、キリストは現され、大きく表現されます。

**B.** 一方で、私たちはキリストが力づけることによって、満ち足りた生活をすることができます。もう一方で、私たちはキ

リストが力づけることによって、真実で、誉れがあり、義であり、純粋であり、愛らしく、好評であることができます。

**C.** 力づける方としてのキリストについてのパウロの言葉は特に、キリストが私たちを力づけて、彼を私たちの人性の美德として生きさせ、それによって彼の無限の偉大さにおいて彼を大きく表現させることに適用されます。これらの美德の生活をするには、キリスト教の働きを行なうことよりはるかに難しいのです。**火**

**II. 力づける方としてのキリストの中にある秘訣を学ぶこととは、キリストの中に住む秘訣を学ぶことです。キリストの中に住むことは、彼の中に居住すること、彼との交わりの中にとどまることであり、それは彼が私たちの中に住むことを、私たちが経験し享受するためです:ヨハネ15:4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。**

**5** 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。

**A.** キリストの中に住むことは、神聖な三一の中に生きることです。すなわち、キリストを私たちの住まいとすることです。

**I** **ヨハネ2:24** あなたがたは、初めから聞いていることを、あなたがたの中に住ませなさい。もし初めから聞いていることが、あなたがたの中に住んでいるなら、あなたがたも御子の中と御父の中に住んでいます。**1.** キリストの中に住むとは、御子の中に、また御父の中に住むことです。これは、主の中にとどまり、居住することです。**2.** キリストの中に住むとは、神聖な命の交わりの中に住むことであり、また神聖な光の中を歩くこと、すなわち、神聖な光の中に住むことです。

**B.** キリストに私たちの中に住んでいただくとは、神聖な三一と共に生きることです。それは、キリストの臨在を私たちの享受とし、彼に私たちと一になっていただくこと、また私たちの存在のあらゆる部分と私たちの生活のあらゆる面で共にいていただくことです:**1.** キリストに私たちの中に住んでいただくとは、キリストの言葉を私たちの中に住まわせて、残る実を結んで、御父に栄光を得させることです。**2.** キリストに私たちの中に住んでいただくとは、三一の神の臨在としての実際の霊に、私たちの中に住んでいただくことです。**水**

**III. 私たちは、私たちの王また王たる住まいとしてのキリストの中に住む必要があります。それによって彼は私たちの中に住み、私たちを彼の王妃また彼の王たる住まい、彼の栄光の召会とすることができます:**

**A.** キリストの中に住むとは、私たちの主としての永遠の神である彼の中に居住し、彼の中で生活し、彼を私たちのすべてとすることです。**詩90:1-2** 主よ、あなたはすべての世代にわたって、私たちの住まいです。山々が生み出される前、あなたが地と世界を生み出される前に、まことに、永遠から永遠まで、あなたは神です。

**B.** 私たちは神の中に居住し、絶えず彼の中で生きる必要があります。なぜなら、彼の外には罪と苦難があるからです。

**C.** 神を私たちの住まい、私たちの永遠に住む場所とすることは、神に対する最も高く、最も満ち満ちた経験です。

**IV. キリストの中に住んで、彼を私たちの住まいとすること、また彼に私たちの中に住んでいただいて、私たちを彼の住まいとすることは、手順を経て究極的に完成された三一の神と、贖われ、再生された信者たちとの宇宙的な合併の実際の中に生きることです: I** **ヨハネ2:27** あなたがたの中には彼から受けた油塗りが住んでいるので、あな

たがたは、だれにも教えてもらう必要はありません。彼の油塗りが、すべての事をあなたがたに教えます。この油塗りは真実であって、偽りではないのですから、油塗りがあなたがたに教えたように、彼の中に住んでいなさい。

**A.** 新エルサレムは、手順を経て究極的に完成された三一の神と、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化された、三部分から成る召会との究極的な合併です。Ⅰヨハネ2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。

**B.** 新エルサレムは、神の幕屋であり、幕屋の中心は、隠されたマナとしてのキリストです。この宇宙的な神性と人性の合併、すなわち、神と人との相互の住まいの中へと合併される道は、隠されたマナとしてのキリストを食べることです。

**V. 私たちがキリストの中に住み、彼に私たちの中に住んでいただくことは、彼を愛することによります：**

**A.** 私たちが主イエスを愛するとき、彼はご自身を私たちに現します。そして御父が彼と共にやって来て、私たちと共に住まいを造り、私たちの享受となります。この住まいは相互の住まいであって、その中で三一の神は私たちの中に住み、私たちも彼の中に住みます。

**B.** 私たちは主を愛すれば愛するほど、ますます彼の臨在を持ちます。私たちは彼の臨在の中にいれざるほど、ますます、私たちにとって彼であるすべてを享受します。主の回復は、主イエスを愛することの回復です。✠

**Ⅶ. 私たちがキリストの中に住み、彼に私たちの中に住んでいただくことは、すべてを含む油塗りの内側の教を顧慮することによります：**

**A.** 私たちがキリストとの神聖な交わりの中に住むのは、主の血の清めを経験することによってであり、油塗る霊を私たちの内なる存在に適用することを経験することによってです。Ⅰヨハネ2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。

27 あなたがたの中には彼から受けた油塗りが住んでいるので、あなたがたは、だれにも教えてもらう必要はありません。彼の油塗りが、すべての事をあなたがたに教えます。この油塗りは真実であって、偽りではないのですから、油塗りがあなたがたに教えたように、彼の中に住んでいなさい。

**B.** かしらとしてのキリストは、油塗られた方であり、油塗る方でもあります。私たちは彼の肢体であって、彼を内なる油塗りとして享受し、彼の定められた御旨を完成します。

**C.** 油塗りは、私たちの内側の複合の霊の動きと働きであり、そして神を私たちの中へと油塗ります。それによって私たちは、神で浸透され、神を所有して、神の思いを理解します。油塗りは、からだのかしらであるキリストの思いを彼の肢体に伝えます。それは命の内なる感覚、内なる知覚によってです。

**D.** かしらがからだの肢体に行動してほしいとき、彼は内なる油塗りを通してそれを知らせます。私たちが油塗りに従順であるとき、命はかしらから私たちへと自由に流れます。もし私たちが油塗りを拒絶するなら、私たちとかしらとの関係は妨げられ、私たちの内側の命の流れは止まります。

**E.** その霊の油塗りの教えは、正しいか間違っているかとは何の関係もありません。それは命の内なる感覚です。

**F.** もし私たちの天然の命が十字架によって対処され、私たちがキリストの頭首権に服従し、からだの命を生かし出すなら、私たちはその霊の油塗りをもち、からだの交わりを享受します。✠

**Ⅶ. 私たちがキリストの中に住み、彼に私たちの中に住んでいただくことは、私たちの霊の中にある命の霊の法則に「スイッチを入れる」ことによります：**

**A.** 主が私たちの中に住み、私たちが彼の中に住むことは、完全に彼が私たちの霊の中の命を与える霊であるという事柄です。私たちの霊の中の、満ちあふれる、限りのない霊によって私たちは、私たちと神が一であり、私たちが互いの中に住んでいることを、十分な確信をもって知ります。Ⅰテサロニケ5:16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 あらゆることで感謝しなさい。なぜなら、これがあなたがたに対する、キリスト・イエスにある神のみこころだからです。

**B.** 力づける方としてのキリストの中に私たちが住み、活動する内なる神、すなわち、命の霊の法則としての彼に私たちの内側で動いていただく道は、いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝することによります。

**Ⅷ. 私たちがキリストの中に住み、彼に私たちの中に住んでいただくことは、私たちの外側にある聖書の中の恒常的な言葉と接触し、また私たちの内側にあるその霊としての現在の言葉と接触することによります：**

ヨハネ5:39 あなたがたは聖書を調べている。なぜなら、その中に永遠の命があると思っているからである。しかし聖書は、私について証しするのである。40 しかしあなたがたは、命を得るために私に来ようとはしない。

**A.** 外側の書かれた言葉によって、私たちは奥義的な主についての説明、解釈、発表を持ちます。内側の生きた言葉によって、私たちは内住のキリストの経験を持ち、実際の主の臨在を持ちます。

**B.** もし私たちが主の恒常的な書かれた言葉の中に住むなら、彼の即時的な生きた言葉は私たちの中に住みます。

**C.** 私たちは彼の中に住み、彼の言葉も私たちの中に住みます。それによって私たちは彼の中で語り、彼も私たちの中で語り、神を人の中へと建造し、人を神の中へと建造します。ヨハネ15:7 あなたがたが私の中に住んでおり、私の言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる。(今週はOLが長いので、高い福音はありません) ✠

**Crucial Point①:私を力づけるキリストの中でいっさいの事、特に真実なこと、誉れあること、義なること、純粋なこと、愛らしいことなどのイエスの人性の美德を大きく表現する**

**OL1:** 私たちは、力づける方としてのキリストの中にいる秘訣を学ぶ必要があります。ピリピ 4:12 私は卑しくなる道を知り、また豊かになる道も知っています。あらゆる事において、またいっさいの事柄において、私は飽くことにも飢えることにも、豊かであることにも乏しくあることにも、秘訣を学びました。

**OL2:** キリストは、私たちの内に住まわれます。彼は外側からではなく、内側から私たちを力づけ、活動的にさせます。そのように、内側で力づけられることによって、パウロはキリストの中で、いっさいの事柄を行なうことができました。

**OL3:** 力づける方としてのキリストについてのパウロの言葉は特に、キリストが私たちを力づけて、彼を私たちの人性の美德として生きさせ、それによって彼の無限の偉大さにおいて彼を大きく表現させることに適用されます。これらの美德の生活をするには、キリスト教の働きを行なうことよりはるかに難しいのです。8 最後に、兄弟たちよ、何であれ真実なこと、何であれ誉れあること、何であれ義なること、何であれ純粋なこと、何であれ愛らしいこと、何であれ好評なこと、またもし何らかの徳があり、何らかの称賛があるなら、これらのことを考慮しなさい。

ピリピ 4:12 で、…パウロは次のように言っているかのようです、「いっさいの事柄において、私は秘訣を教えられました。それによって、私はどのように乏しくあるべきか、また、どのように豊かになるべきかを知りました。私は、一種の秘訣の知識の初歩を教えられました」。パウロが学んだ秘訣

とは何でしょうか？パウロは特別な秘訣を教えられたので、豊かであろうと貧しくあろうと、飽き足りていようと飢えていようと、どんな状況でも対処することができました。その秘訣は、ピリピ 4:13 にあります。「私は、私を力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるのです」。

### 適用: 青年在職・大学院生編

あなたはクリスチャンとして、人ができないことを行うことができます。あなたを力づける方、キリストの中で、あなたはいっさいの事を行うことができるからです。パウロは「いっさいの事」を、真実なこと、誉れあること、義なること、純粋なこと、愛らしいことと関連付けています。

例えばあなたのビジネス・ライフで、ある事柄があなたのゆえに成し遂げられたと考えた上司は、あなたの業績評価を高く付けました。しかし実際はあなたはその事について、3分の1しか関与しておらず、3分の2は他の人が行ったのです。このような時、大まかに言って3つの反応があります。**①誤解による上司の説明を黙って聞いている。**この時あなたは自分が嘘を言っているわけではないので黙って聞いていればいい、と考えるかもしれませんが。**②真実に基づいて、物事の実態を説明し、上司の誤解を解く。****③上司の誤解による説明をそのまま喜んで受け入れる。**上記の2番目の反応をする人は、まれです。上司の評価は給料に直結するので、多くの人は1番目や3番目の反応をとるでしょう。このことは現実のビジネス・ライフにおいて、真実であること、義であることなどの美德を表現することは難しく、力があることを示しています。上司の誤解に基づいて給料を上げようとすることは不義です。それがあなたによって提案されたものでなくても、あなたが訂正しないことは不義です。多くの人は自分が虚偽を言うことによりこの誤解が生じたのではないので、黙っていても不義ではない、と言いつけを言います。しかしこのような言いつけは、神の光の下では全く役に立ちません。

あなたを力づけるキリストの中で、ビジネス・ライフにおいて卓越した美德を表現することができれば、あなたは上司や同僚に高く評価され、遅かれ早かれあなたはリーダーとして推薦されるでしょう。

**祈り:**「おお主イエスよ、私がビジネス・ライフ(あるいは研学生活)で、キリストの美德である、真実なこと、誉れあること、義なること、純粋なこと、愛らしいこと、好評なことなどを大きく表現できますように。私は主から離れて自分に頼ってこの事をすることはできません。しかし私を力づけてくださるキリストの中で、私はこの事ができます。主を賛美します。Apart from You, I can do nothing. But in Christ who empowers me, I can do all things. Amen!」

**Crucial Point②:**ぶどうの木の中にある私たちは、主の中に住み、出て行って福音を伝え、実を結ぶ。その後、新人を家庭集会で牧養し、残る実を結ぶ。福音と牧養は召会生活の重要な枠組みであるので、毎週実行するべきである

**OL1:**キリストに私たちの中に住んでいただくとは、キリストの言葉を私たちの中に住まわせて、残る実を結んで、御父に栄光を得させることです。

ヨハネ 15:5 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。6 私の中に住んでいない者は、枝のように投げ捨てられて枯れてしまう。人々はそれを集めて、火の中に投げ込むので、それは焼かれる。8 あなたがたが多くの実を結ぶことで、私の父の栄光が現され、こうしてあなたがたは私の弟子となる。

16 あなたがたが私を選んだのではない。むしろ、私があな

たがたを選んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、あなたがたが私の名の中で父に求めるものは何でも、彼があなただがたに与えてくださるためである。16 節の FN「あなたがたの実が残るため」：私たちは、出て行って主の中で信者を生み出した後、彼らを顧みる必要があります。最上の方法は、彼らの家庭で集会を設け、彼らを覆い、保護することです。こうして彼らは、養われ、教えらるることによって顧みられ、残る実となって、まことのぶどうの木の中で生きるでしょう。すなわち、キリストのからだの中で、キリストの増し加わりとなるでしょう。

彼の中に生きることは、主を享受する立場の中へと私たちを置きます。彼と共に生きることは、まさに享受することです。神聖な三一と共に生きることは、神聖な三一を享受することです。ある人と共に生きることは、その人を享受することです。

神聖な三一の中で生きることは、キリストの中に住むこととであり、神聖な三一と共に生きることは、キリストに私たちがの中に住んでいただくことです。私たちがキリストの中に住むとき、キリストは私たちの中に住まわれ、彼が住むこととは、私たちと共にある彼の臨在です。

キリストに私たちの中に住んでいただくとは、残る実を結ぶために、キリストの言葉を私たちの中に住まわせることです。ヨハネ 15:7 で主は言われました、「あなたがたが私の中に住んでおり、私の言葉があなただがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる」。このように求めることは、実を結ぶことと関係があり、必ずかなえられます。私たちが出て行って福音を宣べ伝える人になろうとするなら、キリストの言葉を愛する人でなければなりません。私たちが、私たちの中に生ける言葉、命の言葉を住まわせている人でなければなりません。そのような人でないなら、私たちの福音の宣べ伝えは長続きしないでしょう。キリストの生ける言葉は私たちをかき立て、出て行って実を結ばせます。

### 適用: 奉仕者編

新約の信者はみな福音の祭司です。召会はずべての兄弟姉妹が福音の祭司として機能することを願っています。それに到達する前に、主日の集会に参加する3分の1の人がまず率先して福音の祭司として機能することを実行します。これらの人の多くは祈りの集会にも参加しており、主を愛し、主に仕える願いのある人たちです。奉仕者は、まず「福音と牧養が、主が私たちに託した最大の委託、または使命である」ことを理解してください。

**福音について:** マタイ 28:18 イエスは来て、彼らに語って言われた、「天においても地においても、いっさいの権威が私に与えられている。19 だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして、20 私があなたがたに命じておいたことを、すべて守るように教えなさい。見よ、私はこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる」。

マルコ 16:15 イエスは彼らに言われた、「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

16 信じてバプテスマされる者は救われる。しかし、信じない者は罪に定められる。

**牧養について:** ヨハネ 21:15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上に私を愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなただがたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。16 イエスはまた二度目に彼に言われた、

「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか?」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか?」。…イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。

奉仕者であるあなたにとって、福音と牧養はあなたの通常の召会生活、すなわち召会生活の枠組みとならなければなりません。あなたは毎週、主日集会や祈りの集会に参加しますので、あなたにとってそれらの集会は召会生活の枠組みです。同様に、福音と牧養をあなたの召会生活の枠組みとするために、毎週実行してください。地区の兄弟姉妹と組み合わせられ、毎週出て行って福音を伝え、出て行って新人の家で彼らを養うべきです。家庭集会は15分から20分で十分です。30分以上やると毎週行えなくなってしまいます。20分のうち、10~15分を用いて基本的な真理の材料を新人と共に読んで、彼らの中に真理を構成し込んでください。特に説明はいりません。ただ一緒に生命課程、初信者の養い、牧養材料96課(今年8月末に出版される予定。毎週のプリントの中の“高い福音”は96課からの抜粋です)などを使って読んでください。

**祈り:**「おお主イエスよ、あなたが復活された後、天においても地においても、いっさいの権威を受けられました。そして私たち信者に出て行って、福音を伝えるように命じられました。また、福音を信じ、救われた新人を牧養するように命じられました。福音と牧養は新約における私たちへの最大の委託、使命です。私はあなたを愛し、人を愛して、毎週出て行って、福音を伝えます。そして、新人を愛し、彼らがキリストのからだの増し加わりとなるために、毎週出て行って、家庭集会で彼らを牧養します。あなたの召会に拡張を与えて下さい。アーメン！」

### Crucial Point③: 絶えず祈り、あらゆることで感謝する

**Iテサロニケ 5:16** いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 あらゆることで感謝しなさい。なぜなら、これがあなたがたに対する、キリスト・イエスにある神のみこころだからです。**OL1:** 私たちがキリストの中に住み、彼に私たちの中に住んでいただくことは、私たちの霊の中にある命の霊の法則に「スイッチを入れる」ことによります。

**OL2:** 力づける方としてのキリストの中に私たちが住み、活動する内なる神、すなわち、命の霊の法則としての彼に私たちの内側で動いていただく道は、いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝することによります。

主が私たちの中に住み、私たちが彼の中に住むことは、完全に彼が私たちの霊の中で命を与える霊であるという事柄です。私たちの霊の中の、満ちあふれる、限りのない霊によって私たちは、私たちと神が一であり、私たちが互いの中に住んでいることを、十分な確信をもって知ります…。力づける方としてのキリストの中に私たちが住み、活動する内なる神、すなわち、命の霊の法則としての彼に私たちの内側で動いていただく道は、いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝することによります…。私たちがキリストの中に住み、彼に私たちの中に住んでいただくことは、私たちの外側にある聖書の中の恒常的な言葉と接触し、また私たちの内側にあるその霊としての現在の言葉と接触することによります…。外側の書かれた言葉によって、私たちは奥義的な主についての説明、解釈、発表を持ちます。内側の生きた言葉によって、私たちは内住のキリストの経験を持ち、実際の主の臨在を持ちます…。もし私たちが主の恒常的な書かれた言葉の中に住むなら、彼の即時的

な生きた言葉は私たちの中に住みます…。私たちは彼の中に住み、彼の言葉も私たちの中に住みます。それによって私たちは彼の中で語り、彼も私たちの中で語り、神を人の中へと建造し、人を神の中へと建造します。

祈りと感謝は二本の足のようなものです。…感謝のない祈りは役に立ちません。祈りのない感謝も役に立ちません。ですから、私たちは祈るだけでなく感謝しなければならず、祈りをもって感謝しなければなりません。…どちらが最初に来るかは重要ではありません。あなたが両方を持つ限り、クリスチャン生活の道を便利に歩くことができます。

霊の活動は主に祈ることです。口を開いて声を出すことをしなくても、私の霊は内側で自動的に私の中で「呼吸して」主と交わります。時には、私はしばんだように感じます。その時私は深呼吸をして、「おお、主イエスよ！」と呼ぶ必要があります。私は声を出さないかもしれませんが、それでも主を吸い込んでいます。私たちはみな、このような聞こえなくても中断されない祈りを実行するべきです。…絶えず祈ることは、常に霊を活用して主と接触することです。

### 適用: 新人及び青少年・大学生編

**(1) 主の御名を呼び求める:** 新人の兄弟姉妹や若い学生の兄弟姉妹は、主の御名を毎日50回以上呼ぶことを訓練してください。主の御名を呼び求めることは、最も簡単な祈りであり、霊的呼吸です。ですから聖書は、「ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。For there is no distinction between Jew and Greek, for the same Lord is Lord of all and rich to all who call upon Him;」(ローマ10:12)と言っています。

**(2) 毎朝復興:** またあなたは毎朝、LINEなどで兄弟姉妹と共に御言葉を祈り読みし、霊である言葉に触れることによって内側から復興されることを経験してください。また友人や兄弟姉妹のために、とりなして祈ってください。

**エペソ 6:17** …その霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。

### (3) いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝する:

神は、私たちが喜び、祈り、感謝する生活をするのを願われます。そのような生活は、神にとって栄光であり、彼の敵に対しては恥辱です。

**(4) 家庭集会で基本的な真理を読み、養われる:** **Iペテロ 2:2** 生まれたばかりの赤子のように、悪巧みのない言葉の乳を切に慕い求めなさい。それによって、あなたがたが成長して救いへと至るためです。兄弟姉妹は喜んであなたの家に訪問し、基本的な真理を提供してくれます。毎週15~20分の時間を家庭集会のために用いてください。家庭集会はあなたを真理にもたらします。

**(5) 主日集会に参加する:** **Iコリント 11:26** ですから、あなたがたがこのパンを食べ、その杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。救われたあなたは、主を食べ飲みして、主を記念するための主日のパンさき集会に参加する特権を持っています。これはまた主が来られるまで続けるように主が命じられたことでもあります。主日午前中を聖別するなら、あなたは新しい週を、召会の中で主と共に豊かな祝福をもって開始することができます。**祈り:**「おお主イエスよ！私は救われました！あなたの御名を毎日50回以上呼びます。毎朝、御言葉を祈り読みして復興されます。いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝する生活を持たせてください。毎週家庭集会のために家を開き、主日を聖別します！」